

導入方法のタイプわけ

まつお しん

東京女子大学

(転載・引用に関しては、必ず松尾に問い合わせてください)

導入方法のタイプ分け

1. 言いたいけど言えない

- 母語では言えるけど目標言語ではどういう？

2. 言ったけどそれは間違い

- 間違ったからこそ覚える

言いたいけど言えない

T: パンダは？

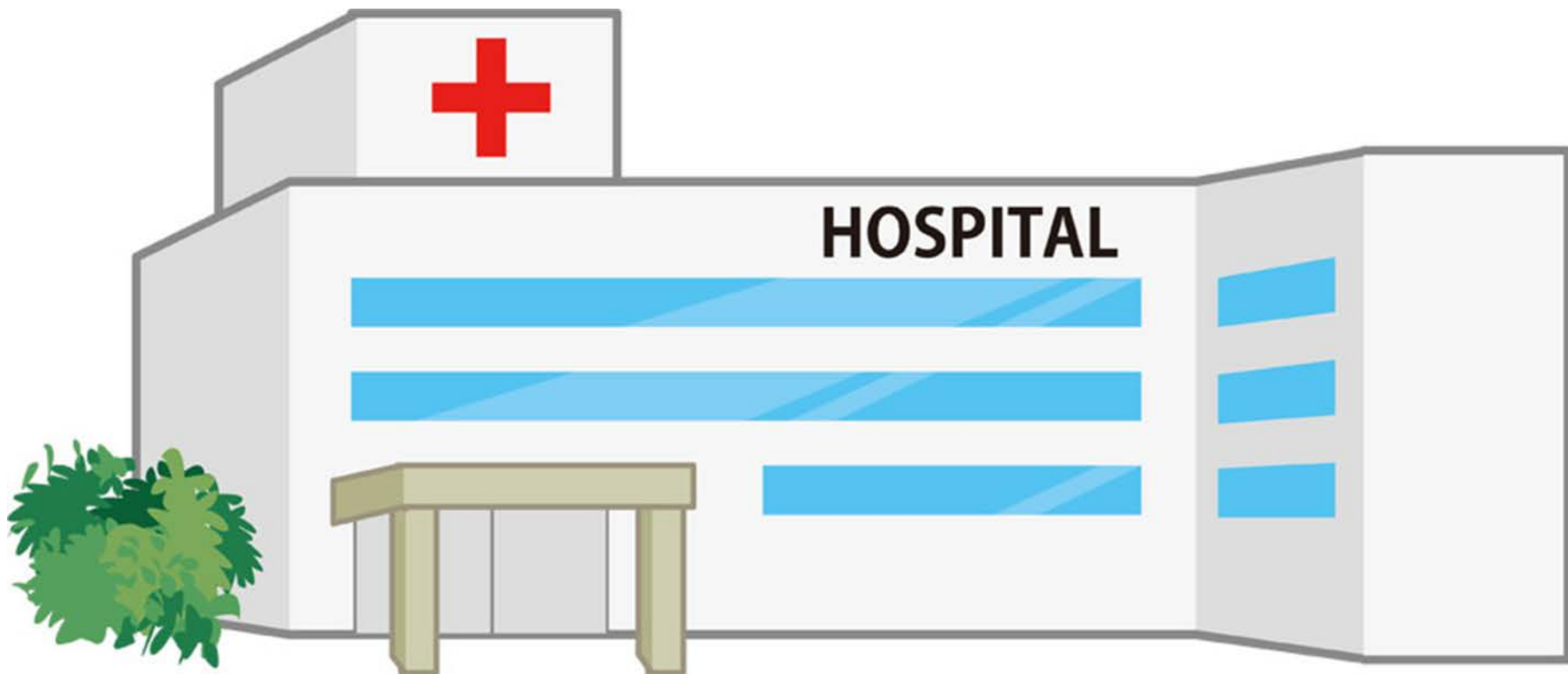
S: わかりません。

T: どうしてですか？

S: ……(母語では「キイタコトガアリマセン」と
言えるが日本語では言えない)

T: 聞いたことがありません

**言えないけど、言いたいところに「ことばや表現、
文型」をのせる**



8:00 ~ 6:00

言ったけどそれは間違い

- いち に さん よん ご ろく
- いちじ にじ さんじ よんじ
- よじ

言ったけどそれは間違い

S: わたしは キムさんに とけいを もらいました。

T: キムさんは？

S: キムさんは わたしに とけいを あげました。

T: キムさんは わたしに とけいを あげました。

言いません。

キムさんは わたしに とけいを くれました。